

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	みんなで支えあう安心・安全なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23～26年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規	継続	
地域における現状、課題及び住民ニーズ	少子・高齢化、高齢者のひとり暮らしの増加などにより、地域の姿が大きく変容する中で、地域活動を行うための活力が低下し、災害時を含めた共助機能の低下が不安視されている。また、防災、医療、交通など市民生活に関わる多くの分野で安心・安全な体制の構築が求められている。このような状況のなか、市民生活における多様な不安を解消するとともに、みんなで支え合う地域づくりを推進することにより、これからの時代に対応した子どもからお年寄りまで全ての市民が安心・安全に生活ができるまちの実現が求められている。									
プロジェクトの目的及び概要	津波対策の一助となる海拔表示板の設置、土砂災害・地震ハザードマップの作成、緊急車両の通行確保のための道路改良などを通して、防災体制の強化を図る。また、今年度から新たに実施する「市民と職員による政策づくり塾」を始め、職員が地域住民と一緒に地域の将来像を策定する「地域づくりサポート」など、自立的な地域活動を促進し、地域力の再生・向上を図る。さらに、農山漁村集落の交通や休日救急医療体制の確保することにより、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指す。									
	総事業費（千円）	512,000	本年度事業費（千円）	107,166	交付金額（千円）	40,618				
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績（出来高数値等）										
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）						
市町村 実施事業	防災体制強化事業	交付対象事業	ハザードマップ・海拔表示板等の作成、災害に強い都市基盤の整備（道路、河川改修）	地域防災計画の見直し、ハザードマップ（地震・土砂災害）の作成・配布、海拔表示板の設置（190箇所）、河川改修他						
	地域活動等支援事業	交付対象事業	地域づくりサポート制度の実施、自立的な地域活動の支援、拠点整備	地域集会所建設補助（新築2件）、小型除雪機配備（2台）、地区の共同作業に対する資材支給（55地区）、高齢者地域づくりサロン事業助成他						
	交通確保対策事業	交付対象事業	農山漁村集落の交通の確保	バス路線（5路線）の維持費に対して補助						
	休日救急医療対策事業	交付対象事業	休日における安心安全な救急医療対策として、輪番制による患者の受入体制の確保	市内公的3病院に休日救急診療を委託						
	安全道路整備事業	交付対象事業	みんなにやさしく安全に通行できるよう道路照明の整備	市道余部下雁又線に照明灯（12灯）を設置						
	防災行政無線（同報系）整備事業	関連事業	市役所と避難所との通信手段を確保するとともに屋外拡声子局等を整備							
	みんなにやさしい安全道路整備事業	関連事業	通学路や生活道路、橋梁を歩行者・自転車・車など、みんなが安全に通行できるよう整備							
成果 指標	成果指標の目標数値	身近な地域づくり計画の策定・実践件数（平成26年度：5件）	成果指標の実績値（平成25年3月31日時点）	2件						
	成果指標の達成状況		（左の理由）	モデル地域（2地域）を募集したが、所管課で対応可能（行政主体）な内容等であったことから、実施に至らなかった。						
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）					

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標	成果指標の目標数値	緊急車両等の進入できない地域の解消（平成26年度：5地区）		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	H23：栢尾地区、蒲江地区、H24：京田地区、城屋地区	
	成果指標の達成状況		（左の理由）	成果指標の目標年度に至っていないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	成果指標の目標年度に至っていないため達成できていないが、目標達成に向け引き続き取組みを継続する。					
未達成の場合も効果を記載すること						
	未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	防災行政無線の増設や道路の交通安全対策などのハード面、海拔表示板の設置やハザードマップの作成・配布などのソフト面を総合的に実施することで、市民の安心安全の確保に努めた。				
	住民の自治意識を高める成果	地域住民が自主的に行う活動を支援することで、地域への関心・意識を高めることができた。				
	その他の成果	市民生活の基礎となる「安全で安心して生活できる」環境整備を進めることができた。				

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは、目標数値の近似値であるときは、目標数値を下回ったときは、判断できないときは を記載すること。